

ウクライナ侵略から1年

ロシアは即時撤退を



ロシアのウクライナ侵略開始から1年にあたる24日、戦争させない甲賀市民の会は、水口町のまるゝむ前交差点で、二日も早い戦争終結と平和を求めスタンディングを行いました。行動には山岡光広・岡田重美・西山実甲賀市議も参加しました。国連総会ではロシア軍の即時撤退や国連憲章の原則に沿った和平の達成などを求める決議が、国連加盟国の7割にあたる141カ国の賛成で採択されました。岸田内閣の大軍拡・大增税に怒りの声がよせられました。

西山実議員が代表質問 市長の政治姿勢、予算案、市政の課題質す



山議員は、実態把握、検査拡充、保健所・医療体制の強化、中小零細事業者に対する継続的な財政支援等を求めました。

市長は引き続き感染対策は必要、国や県に対しても必要な対策を要請していきたいと答弁しました。

②市民のいのちと暮らしを守る立場から国政の焦点と市長の政治姿勢について
西山議員は、敵基地攻撃能力の保有、核兵器禁止条約、気候危機、原発問題、消費税減税・インボイス導入、選択的夫婦別姓制度導入、農林業の支援・振興など国政の主な焦点について市長の政治姿勢を問いました。

市長は、敵基地攻撃能力の保有について、安保政策の大きな転換であり、国政の場において幅広い議論が必要と答弁。また原発問題や消費税減税、選択的夫婦別姓制度についても、国において適切に判断すべき、国の動向を注視していくと述べるに留まりました。

③岩永市政の評価と課題
岩永市政として6年4カ月が経過、市の人口は5年間で2367人減少しており、人口減少対策を強化すること、子育て支援策として、高校卒業までの医療費無料化、学校給食費の無償化などを要求、加齢性難聴に伴う補聴器補助など高齢者対策の充実を求めました。

市長は、給食費無償化には4億円が必要で財政的にきびしい、国や県が方向を示すべきと述べました。

西山議員はまた、職員の時間外労働が増えている実態からも職員の適正配置、アウトソーシングについて課題や問題点を指摘しました。投票所の削減については、選管事務局長に強行に実行すべきでないと迫りました。

④新年度予算について
西山議員は、大型ハコモノ予算が多い、コロナや物価高騰対策、中小零細事業者支援など、市民のくらしを温める施策が不十分と市の考えを質しました。

開会中の3月議会は2月28日各党派による代表質問が行われました。日本共産党甲賀市議員団からは、西山実議員が代表質問に立ち、市長の政治姿勢や予算案、市政の課題等を質しました。

①新型コロナウイルス感染拡大、医療体制の抜本的な充実を

市内でも2ヶ月余りで17件のクラスター発生など深刻な状態が続いており、医療体制の強化抜きに「5類」に引き下げれば医療現場の混乱は避けられません。西

議案提案権いかして意見書案提出

山岡光広議員

■マイナンバーカードの普及状況を地方交付税等に反映させることはしないよう求める意見書

■保育士の配置基準の見直し等を求める意見書

岡田重美議員

■学校部活動の地域移行に関する意見書

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2023年 3月 5日 第440号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044